

薬草園かわらばん

皆さ～んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2018年
2月28日
第34号



マンサク (マンサク科)

今、園内では黄色の花がロウバイの黄色と目に入ります。葉を「満作葉」と云い、アメリカの民間薬である「ハマメリス葉」の代用として、収れん、止血に用います。本州、四国、九州に分布する落葉低木で、和名の由来は、黄色の花が枝いっぱい咲くので「豊年満作」と来た説や、葉が出る前に「まず咲く」とか諸説あります。枝はたいへん強靱で緩まないことから、枝をねじったものを「ネソ」といい、いかだや、合掌作りの家などの骨組みを結う紐として用います。「ハマメリス葉」は、アメリカマンサクの葉で、薬用茶として利用される他、今では「ウイッチヘーゼル」の名で化粧品の成分としてよく耳にしますね！

アオキ (アオキ科)

園内のアオキの冬芽が膨らみ始めました。来月位かな、紫褐色の小さな花が見られるのは？冬の葉の赤と葉の緑はよく写真とかで見ますが、花もお忘れなくお願いします。林中に生える常緑の小低木で、枝も葉も緑で青木（あおき）の名が付いたようです。斑入りの葉も多いようですが、この薬草園でも例外にあらすです！葉は乾燥すると、内蔵酵素により、含まれる成分が変化して真っ黒になります。民間療法として、生葉を火であぶって、切り傷、はれ、火傷に外用として用います。この葉はタラヨウと同様、葉の上に字が書ける葉書葉の一つです。

今、梅も咲き始めましたよ～！待ってま～す！！